

# 日本都市学会ニュース NO. 59

2025. 3. 31

発行 日本都市学会 〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学社会学部西野淑美研究室内  
<事務局長>熊田俊郎 <e-mail>info@toshigaku.org <ホームページ>http://www.toshigaku.org/  
郵便振替 00130-0-512255 日本都市学会本部事務局

## 今後の学会運営について 日本都市学会会長 山崎健

会長職を拝命して、2年間が経過致しました。この間、大過なく、学会運営ができましたのは、各分担事務局の理事や会員の皆様のご支援、ご協力の賜物です。

ここに、厚く御礼申し上げます。ただ、都市学会のより活発な活動をめざして、学会活動活性化委員会を立ちあげましたが、まだ、十分な成果は得られておりません。学会活動に関しての大きな課題の1つとして、学会員の減少と高齢化の問題があります。学会員の減少は、会費収入の減少による学会の財政問題に直結します。また、高齢化は学会活動の活力低下につながるものでもあります。

さらには、学会業務の分担事務局体制に関しても、担当する各地域学会のボランティア的支援に強く依存したかたちで、これまで、継続してまいりましたが、この体制も再検討する必要があるかもしれません。

これらの課題は、各地域学会によって、その様相は異なるものでありますが、本学会は各地域学会の連合体でありますので、次年度以降、学会活動活性化委員会を中心に、学会全体としても課題の検討と対応策について、検討を進めてまいりたいと存じますので、学会員の皆様からも積極的なご意見を賜ればと思います。

以上、よろしくお願い致します。

## 日本都市学会第71回大会を 開催しました

日本都市学会第71回大会は、2024年10月25日(金)・26日(土)・27日(日)に石巻市、石巻専修大学、三陸河北新報社のご後援のもと、石巻魚市場で開催されました。

【10月25日(金)】エクスカージョンが以下のコースで行われました。

石巻駅前・Reborn-Art STAND→震災遺構門脇小学校→White Deer (OSHIKA)→サン・ファン館→石巻駅前。

参加者は24名でした。

【10月26日(土)】研究報告が翌日とあわせ計31件行われました。その後、大会シンポジウム「災害と文明：Rebornと再生」が開かれ、計60名にご参加いただきました。

シンポジウムではまず、日本都市学会山崎健会長、東北都市学会松村茂会長から開会挨拶、齋藤正美石巻市長から歓迎挨拶がございました。続いて、平川新氏(慶長使節船ミュージアム館長)の基調講演がありました。続いて、平川氏のほか亀山紘氏(前石巻市長)、松村豪太(一社I SHINOMAKI2.0代表理事)、渡辺享子(合同会社巻組代表)をパネリストに迎え、佐々木万亀夫氏(東北都市学会石巻支部長)をコーディネーターとするパネルディスカッションが行われました。

次いで、2024年度の日本都市学会各賞の授賞式が行われ、学会賞(奥井記念賞)受賞者の井澤知且氏、野坂真氏、論文賞受賞者の中川雄大氏への賞状の授与が行われ、受賞者からのスピーチがありました(野坂氏はビデオメッセージ、中川氏は事務局代読)。

続いて2024年度総会が開催されました。

【10月27日(日)】研究報告が前日に引き続き行われました。続いて、東日本大震災・原子力災害伝承館の後援のもと能登半島地震特別セッション「避難と帰還のあいだ」が行われ25名にご参加いただきました。山田修司氏(東日本大震災・原子力災害伝承館)、杉安和也氏(岩手県立大学)、松永妃都美氏(長崎大学原爆後障害医療研究所)による話題提供の後、静間健人氏(東日本大震災・原子力災害伝承館)からコメントがありました。

主催の東北都市学会の大会事務局には、石巻市、石巻専修大学、三陸河北新報社との調整など、準備に尽力いただきました。関係各位には厚く感謝申し上げます。皆さまのご協力のお蔭をもちまして、日本都市学会第71回大会を無事に開催することができ、心から感謝申し上げます。

## 第72回大会は佐賀市で開催します

第72回大会は、2025年11月7日(金)～9日(日)に佐賀大学(佐賀市)にて「スポーツとまちづくり」をテーマにして開催される予定です。

## 2024 年度日本都市学会賞等が決まりました

## 日本都市学会賞（奥井記念賞）

井澤知旦氏（中部）『名古屋都市・空間論：消毒された都市から物語が生まれる都市へ』風媒社、2023 年

## 選考理由

本書は、都市論でもあり、空間論でもある。著者は工学系出身なので、空間論が専門であるが、それに都市論を加味することによって、深耕された都市空間論を構築している。

都市論では、名古屋の都市イメージを明治以降の雑誌等でその変遷と他都市比較を行い、都市発展史をエポックごとにまとめ、人々の流入や交流がその原動力になっていることを明らかにしている。そして空間論では江戸時代に整備された基盤割をもとに、明治以降は郊外の耕地整理・区画整理を徹底し、近代都市基盤を確立してきたこと、戦後は戦災復興区画整理によって手つかずであった都心のインフラを拡充することで、都市機能強化や防災性の向上に資する一方、路地等の限界性をなくし、画一的で平板な都市環境を作ったと総括している。こうした都市環境整備の過程を「消毒」という用語で説明しているのは独創的である。

選考委員会では、一見するとつながりが希薄にもみえる都市論と空間論が、「消毒」「物語」というキーワードで首尾よく結ばれていること、消毒された都市から物語が生まれる都市への道筋を示し、画一的な都市空間に魅力を付加するための具体的な方策を提案していることを高く評価した。そして都市に関する独創的な研究・調査であること、長年にわたる蓄積の成果がみられることなどから、日本都市学会賞（奥井記念賞）の受賞に相応しいと判断した。

野坂真氏（関東）『地方社会の災害復興と持続可能性：岩手県・宮城県の東日本大震災被災地からレジリエンスを再考する』晃洋書房、2023 年

## 選考理由

本書は、東日本大震災被災地において、被災前の地域特性と被害状況、さらに復興期から次の災害に向けての対応へと続く、長期的な災害サイクルのなかで、地域社会がどのように被災し、そこから回復していくかについて、災害社会学や地域社会学に基づく視点から丹念な調査研究を行ったものである。津波災害による甚大な被害を受けた岩手県大槌町を主な事例とし、一方、人口規模や被害の様相の異なる宮城県気仙沼市を参照することで、都市化の程度の異なる他の地域にも応用可能な知見を見出すこと

を試みている。

選考委員会では、東日本大震災被災地の災害前から避難期、復興期までの長期的な時間軸の中で、地域社会がどのように被災し、回復していくかを、経年的に関わりながら緻密な調査分析をまとめあげた労作であること、さらに地震発生前からの時間的連続性が考慮されている本研究の意義は大きく、能登半島地震など、近年に発生した災害からの復興を検討する上でも重要な参照となりうる研究であり、都市研究の進歩発展のために意義あるものと高く評価し、日本都市学会賞（奥井記念賞）の受賞に相応しいと判断した。

## 日本都市学会論文賞

中川雄大氏（関東）

中川雄大「「場末」を記述する：1910～30 年代東京の周縁部に着目して」『関東都市学会年報』23: 45-54。

## 選考理由

この論文は、「場末」について戦前の各種資料・報告書等の膨大な資料をもとに緻密に分析し、その存在を明らかにすることによって、「郊外」や「周縁部」「インナーリング」に包摂されることで見えにくくなる構造的問題を、むしろ「郊外」との関係性において提示することに成功している。また「郊外」や「周縁部」等といった空間を固定化してみるのではなく、あくまでも時代・アクターにより形成される空間が「場末」であることを主張している。さらに都市計画（空間的）やセツルメント（社会階層的）の政策的アプローチを分析し、「場末」が「都市的スケールを参照しつつ、問題の深刻さや置かれている状況の劣悪さを強調し、既存の政策的介入を批判する効力を持つ概念」であることは、都市計画における用途地域制の不備を突くという結果をもたらし、現代の都市計画への批判にも通じるものと考えられる。

なお、時代・地域を絞ったとしても当時の言説を網羅できているのか、もっと多様な意味が込められていた可能性はないのか、スラムと場末という異質なものを比較するのであれば、より明確な考察が必要ではないかなど、今後の研究内容の充実につなげていくうえでの意見があったことを付記する。

以上をもって、日本都市学会論文賞選考規程第6条(2)「都市に関する独創的な研究、調査であること。」に該当し、論文賞にふさわしいものとする。

なお、日本都市学会特別賞（学術共同研究賞および外国語著作賞）と同（まちづくり賞）の該当はありませんでした。

## 2024 年度総会報告

2024 年度日本都市学会総会は、2024 年 10 月 26 日（土）17：40 から石巻魚市場で開催されました。松村茂東北都市学会会長を議長に選出して、以下の 7 議案が審議されました。その結果、いずれも原案どおり議決されました。また引き続き、3 件の報告がなされ、いずれも承認されました。総会の参加者は 38 名でした。

### 議案 1 2023 年度事業報告

#### (1) 日本都市学会第 70 回大会の開催

開催日時 2023 年 11 月 3 日(金)～5 日(日)  
開催学会 日本都市学会・関東都市学会  
開催都市 神奈川県小田原市  
開催テーマ 「データにもとづいた都市政策の形成」

#### (2) 日本都市学会年報の発行

VOL.56 「グローバル社会における都市の脆弱性と“新常态”の模索」  
(2023 年 5 月発行)

#### (3) 論文審査委員会

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

#### (4) 日本都市学会賞の選定

2023 年 3 月 15 日 外国語著作賞推薦等締め切り  
2023 年 4 月 30 日 奥井賞・特別賞（学術共同賞）・特別賞（まちづくり賞）締め切り  
2023 年 9 月 選考委員会開催、その後 2 回理事会において決定  
2023 年 11 月 4 日（土）大会において授賞式

#### (5) 日本都市学会総会の開催

2023 年 11 月 4 日（土）

#### (6) 理事会の開催

- 第 1 回理事会（2023 年 6 月 25 日）  
2022 年度事業報告・決算案、2023 年度事業計画・予算案、第 70・71 回大会予定、各事務局からの報告他
- 第 2 回理事会（2023 年 9 月 24 日）  
2023 年度学会賞・論文賞等の決定、第 70 回大会予定、各事務局からの報告他
- 第 3 回理事会（2023 年 11 月 3 日）  
総会提出議案の決定、第 70 回大会直前確認事項、第 71 回大会予定、各事務局からの報告他
- 第 4 回理事会（2024 年 3 月 31 日）  
2023 年度事業報告・決算見込み、2024 年度事業計画・予算案等、第 70 回大会報告、第 71 回大会予定、各事務局からの報告、学会活性化委員会について他

#### (7) 日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス

日本都市学会ニュース No.56 2023 年 7 月  
日本都市学会ニュース No.57 2024 年 3 月

### 議案 2 2023 年度決算

（自 2023 年 4 月 1 日至 2024 年 3 月 31 日）

#### 収入の部（2023 年度）（円）

科目	予算	決算
学会会費（当該年度分）	1,700,000	1,652,400
学会会費（過年度分）	0	▲25,400
年報売上高等	500,000	454,000
雑収入	100,000	116,473
前年度繰越金	3,471,281	3,471,281
計	5,771,281	5,668,754

#### 支出の部（2023 年度）（円）

科目	予算	決算
大会関係費	500,000	500,000
理事会関係費	700,000	130,927
論文審査委員会関係費	50,000	32,040
年報関係費	1,250,000	1,368,139
(VOL.55)	(0)	(155,410)
(VOL.56)	(1,150,000)	(1,163,229)
(VOL.57)	(100,000)	(49,500)
学会賞関係費	100,000	38,737
事務局経費	500,000	149,573
備品費	10,000	0
雑費	60,000	0
予備費	2,601,281	0
次年度繰越	0	3,449,338
計	5,771,281	5,668,754

#### 正味資産の部

資産（2024 年 3 月 31 日現在残高）

郵便振替口座	¥2,838,218
三菱東京 UFJ 銀行奈良支店	¥611,120
手持ち現金	¥0
計	¥3,449,338

負債なし

### 議案 3 2024 年度事業計画

#### (1) 日本都市学会第 71 回大会の開催

日時 2024 年 10 月 25 日(金)・26 日(土)・27 日(日)  
開催学会 日本都市学会・東北都市学会  
開催都市 宮城県石巻市  
開催テーマ 「災害と文明：Reborn と希望」

#### (2) 日本都市学会年報の発行

VOL.57 「データにもとづいた都市政策の形成：誰のウェルビーイングを目指すのか」(2024 年 5 月発行)

**(3)論文審査委員会**

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

**(4)日本都市学会賞の選定**

2024年3月外国語著作賞推薦等締め切り  
 2024年4月奥井賞、特別賞（学術共同賞）、特別賞（まちづくり賞）推薦等締め切り  
 2024年9月選考委員会開催、その後2回理事会において決定  
 2024年10月26日(土)大会において授賞式

**(5)日本都市学会総会の開催**

2024年10月26日(土)

**(6)理事会および常任理事会の開催**

第1回理事会（2024年6月30日）  
 2023年度事業報告・決算案、2024年度事業計画・予算案、第71・72回大会予定、各事務局からの報告他

第2回理事会（2024年9月29日）  
 2024年度学会賞・論文賞等の決定、第71回大会予定、各事務局からの報告、会長候補者選挙結果を受けて会長候補者決定他

第3回理事会（2024年10月25日）  
 総会提出議案の決定、第71回大会直前確認事項、第72回大会予定、各事務局からの報告他

第4回理事会（2025年3月）  
 2024年度事業報告・決算見込み、2025年度事業計画・予算案等、第71回大会報告、第72回大会予定、各事務局からの報告他

**(7)日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス**  
 日本都市学会ニュース No.58, 2024年7月  
 日本都市学会ニュース No.59, 2025年3月

**(8)能登半島地震被災者会費減免措置の実施**  
 当面2025年度までの措置とします。

**議案4 2024年度予算**

（自2024年4月1日至2025年3月31日）

収入の部

科目	2023年度	2024年度
学会会費(当該年度分)	1,700,000	1,666,000
学会会費(過年度分)	0	23,800
年報売上高	500,000	500,000
雑収入	100,000	100,000
前年度繰越金	3,471,281	3,449,338
計	5,771,281	5,739,138

支出の部

科目	2023年度	2024年度
大会関係費	500,000	500,000

理事会関係費	700,000	400,000
論文審査委員会関係費	50,000	50,000
年報関係費	1,250,000	1,250,000
(VOL.57)	(1,150,000)	(1,150,000)
(VOL.58)	(100,000)	(100,000)
学会賞関係費	100,000	100,000
事務局経費	500,000	500,000
備品費	10,000	10,000
雑費	60,000	60,000
予備費	2,601,281	2,869,138
計	5,771,281	5,739,138

**議案5 会長の承認**

事務局より、理事会における会長候補者推薦選挙の結果（本紙5ページ参照）を踏まえ、下記の通り2025・2026年度日本都市学会会長として、山崎会員を推薦するとの報告があり承認されました。

山崎 健（近畿）再任

**議案6 監事の承認**

事務局より、理事会決定に基づき、監事（2025年度・2026年度）として、次の2名の会員を推薦するとの報告があり承認されました。

野々山和宏（東北）再任

松内 紀之（九州）新任

**議案7 理事の承認**

事務局より、昨年度総会以降に各地域都市学会から選出されずすでに任に当たっている理事（下記下線部の3名）の報告があり承認されました。

- (1) 支部会長理事：松村茂（東北）、熊澤健一（関東）、磯部友彦（中部）、久隆浩（近畿）、豊田哲也（中四国）、石川雄一（九州）
- (2) 支部選出理事：増田聡（東北）、熊田俊郎（関東）、西野淑美（関東）、井澤知且（中部）、佐藤彰男（近畿）、田中晃代（近畿）、北川博史（中四国）、山下宗利（九州）
- (3) 会務担当理事：野村理恵（北海道）、松本行真（東北）、土居洋平（関東）、平井太郎（関東）、大塚俊幸（中部）、佐野光彦（近畿）、川瀬正樹（中四国）、有馬隆文（九州）

**報告1 学会賞等について（略）**

**報告2 日本都市学会第72回大会について（略）**

※本紙関連記事をご参照ください。

### 報告3 日本都市学会会員数の状況

日本都市学会地域都市学会別会員数の推移

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
北海道	9	7	9	7	7	7
東北	65	58	58	48	47	50
関東	141	137	132	132	142	140
中部	90	87	86	79	81	80
近畿	149	139	123	120	111	105
中四国	43	47	47	48	47	45
九州	67	63	65	62	57	57
本部	1	1	1	0	0	0
合計	565	539	521	496	492	484

総会では、学会員の増加策、とくに若手会員の増加策について日本都市学会としてどう考えているのか、という質問と意見がありました。これに対し、山崎健会長より学会の活性化委員会で検討することになっているとの発言がありました。

また、例年総会が10月頃に開催され、4月から始まる会計年度と大きくずれており、学会の会計年度の開始時期を見直すべきでないかとの意見がありました。これに対し、学会の会計年度と会員の所属機関の会計年度がずれることによる問題など慎重に検討する必要がある等の意見もありました。

### 2024年度第2回理事会報告

2024年度第2回理事会は、2024年9月29日(日)13時30分から東洋大学白山キャンパスとZoomを併用する会議で開催されました。出席者は、山崎健会長、熊澤健一、熊田俊郎、西野淑美、松本行真、土居洋平(以上対面出席)、増田聡、松村茂、磯部友彦、井澤知且、久 隆浩、佐藤彰男、田中晃代、北川博史、石川雄一、山下宗利、野村理恵、大塚俊幸、佐野光彦、川瀬正樹、有馬隆文(以上Zoom出席)の各理事でした。議事の概要は以下のとおりです。

#### 議題1 2023年度事業報告、決算

会計監査が終了した後、次の理事会で事業報告・決算報告の承認を行うことになりました。

#### 議題2 2024年度事業計画、予算

2024年度に盛り込みたい事項で予算措置を要するものがあれば、理事会で審議し総会に提案できるのでお申し出いただきたいとの案内がありました。

#### 議題3 学会賞の選考

学会賞について選考委員会の選考結果どおり下記のとおり授与することを決定しました。

##### 日本都市学会賞(奥井記念賞)

井澤知且会員『名古屋都市・空間論：消毒された都市から物語が生まれる都市へ』(風媒社、2023年)

##### 日本都市学会賞(奥井記念賞)

野坂真会員『地方社会の災害復興と持続可能性：岩手県・宮城県の東日本大震災被災地からレジリエンスを再考する』(晃洋書房、2023年)

##### 日本都市学会論文賞

中川雄大会員

同「「場末」を記述する：1910～30年代東京の周縁部に着目して」『関東都市学会年報』第23号

#### 議題4 年報事務局報告

年報第57号の会計報告と第58号の編集方針について報告がありました。

#### 議題5 論文審査事務局報告

2024～2025年度の論文審査委員が前回理事会で決まり、委員長・副委員長を最初の委員会で選出する見通しであること、また今後の審査スケジュールについて報告がありました。

#### 議題6 第71回大会について

東北都市学会より準備状況と検討課題の報告がありました。

#### 議題7 第72回大会について

九州都市学会より開催都市を佐賀市とし、佐賀大学を会場に開催する方向で計画しているとの報告がありました。

#### 議題8 会長候補者の選考

理事による会長候補者選挙を行いました(2024年8月20日発送、8月31日締切りの郵便投票)。9月6日開票の結果、下記のとおり山崎健会員(近畿)が第1回投票で有効票の過半数を得ました。そこで同会員を2025-26年度会長候補者(再任)として総会に提案することに決定しました。

投票結果

有権者数 22

投票総数 18

有効票 17

山崎健 12

井澤知且 2

北原啓司 1

熊田俊郎 1

増田聡 1

#### 議題9 監事の選考

慣例から1期目任期中の野々山和宏監事(東北)に再任をお願いし、もう1名を九州都市学会から推薦いただき総会に提案することに決定しました。

#### 議題10 その他

(1)本日の出欠状況について報告がありました。

(2)2025年4月から本部事務局が関東から中部に移

転することに伴い、移行期間中の理事会構成について協議しました。

(3)関東都市学会から、同学会ホームページをリニューアルし、他の地域都市学会会員も参加できる企画や公募情報なども掲載できるようになったので、該当する情報があれば関東都市学会事務局にお問い合わせいただきたいとの案内がありました。

## 2024 年度第 3 回理事会報告

第 3 回理事会は、2024 年 10 月 25 日(金)18:33 から、三陸河北新報社で開催されました。出席者は、山崎健会長、増田聡、松村茂、熊澤健一、熊田俊郎、西野淑美、磯部友彦、井澤知且、久 隆浩、田中晃代、豊田哲也、石川雄一、山下宗利、松本行真、土居洋平、平井太郎、大塚俊幸、佐野光彦、川瀬正樹、有馬隆文の各理事、野々山和宏監事でした。議事の概要は以下のとおりです。

### 議題 1 総会議題確認

(1)2023 年度決算報告について監事より適正に会計処理されている旨、監査報告がありました。2023 年度決算報告を承認し、総会に提案することに決定しました。

(2)2025・2026 年度監事候補として野々山和宏会員(東北)と松内紀之会員(九州)を総会に提案することを決定しました。

(3)上記をふまえ総会議題を審議し決定しました。

### 議題 2 年報事務局報告

年報事務局より、年報第 58 号の編集方針と第 57 号の収支報告があり承認しました。

### 議題 3 論文審査事務局報告

論文審査事務局より、論文審査委員会委員長に梶田佳孝会員、副委員長に長田進会員を提案することの報告があり承認しました。

### 議題 4 学会賞事務局関係

学会賞事務局より、今年度学会賞授賞式に関する報告を受け承認しました。

また、次年度学会各賞の募集について提案があり、外国語著作所の募集締切りの前倒しについては、対象著作の刊行時期を含めなお検討を尽くすことを決定しました。

### 議題 5 第 71 回大会について

東北都市学会より報告がありました。

### 議題 6 第 72 回大会について

九州都市学会より検討状況の報告がありました。

### 議題 7 その他(能登半島地震会費減免措置)

現在ご案内している能登半島地震被災会員の会費

減免措置について、いつまで継続するかわからなくては対応に困る会員もいるのではないかとの意見がありました。協議の結果、当面 2025 年度まで実施することとし、措置の周知が不十分ではないかとの意見を受け、総会に諮る事業計画に盛り込むこととしました。

## 2025 年度学会賞等を募集しています

2025 年度の日本都市学会賞(奥井記念賞)および日本都市学会特別賞(学術共同研究賞、まちづくり賞)の募集が始まっています。学会賞担当事務局から各地域都市学会事務局あてに推薦依頼が送られていますので、各地域都市学会では、現物 7 部(献本)および推薦理由を添えて所定の期日までに学会賞担当事務局まで送付して下さい。なお、7 部の献本が困難な場合、2 部以上の献本、残りは借用でお願いいたします。

6 月から選考委員の選考作業が開始され、9 月開催予定の選考委員会で選考結果をとりまとめ、理事会において授賞が決定されます。

## 学会賞選考委員

### 日本都市学会賞(奥井記念賞)選考委員

委員長:石川雄一(九州)

委員:野村理恵(北海道)、増田聡(東北)、土居洋平(関東)、大塚俊幸(中部)、稲垣稜(近畿)、豊田哲也(中四国)

### 論文賞選考委員

委員長:井澤知且(中部)

委員:松本行真(東北)、熊田俊郎(関東)、西野淑美(関東)、石原肇(近畿)、根田克彦(近畿)、川瀬正樹(中四国)、有馬隆文(九州)

### 外国語著作賞選考委員

委員長:北川博史(中四国)

委員:松村茂(東北)、米本清(関東)、磯辺友彦(中部)、石田信博(近畿)、山下宗利(九州)

## 論文審査委員

委員長:梶田佳孝(九州、都市交通計画)

副委員長:長田進(関東、経済地理・都市地理)

委員:五十嵐泰正(関東、都市社会)

田中晃代(近畿、都市計画)

野々山和宏(東北、都市経済)

竹中克行(中部、経済地理)

和田真理子(近畿、都市地理)

## 2024 年度日本都市学会役員 (2. 28 現在)

**会長** 山崎健(近畿)

**理事** (支部会長理事) 松村茂(東北)、熊澤健一(関東)、磯部友彦(中部)、久隆浩(近畿)、豊田哲也(中四国)、石川雄一(九州)

(支部選出理事) 増田聡(東北)、熊田俊郎(関東)、西野淑美(関東)、井澤知且(中部)、田中晃代(近畿)、佐藤彰男(近畿)、北川博史(中四国)、山下宗利(九州)

(会務担当理事) 野村理恵(北海道)、松本行真(東北)、土居洋平(関東)、平井太郎(関東)、大塚俊幸(中部)、佐野光彦(近畿)、川瀬正樹(中四国)、有馬隆文(九州)

**監事** 松山明(中部)、野々山和宏(東北)

## 倫理委員会委員

委員長：熊田俊郎(関東)

委員：松村茂(東北)、磯辺友彦(中部)、久隆浩(近畿)、豊田哲也(中四国)、山下宗利(九州)

## 分担事務局

### ■本部事務局(関東都市学会)

〒112-8606 文京区白山 5-28-20  
東洋大学社会学部 西野淑美研究室内  
事務局長：熊田俊郎  
e-mail : info@toshigaku.org

### ■年報担当事務局(近畿都市学会)

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518  
神戸学院大学総合リハビリテーション学部  
佐野光彦研究室内  
TEL&FAX : 078-974-1868  
e-mail : micco.sano@gmail.com

### ■学会賞担当事務局(東北都市学会)

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1 G-6C  
近畿大学総合社会学部 松本行真研究室内  
06-6721-2332 (内線 3262)  
e-mail matsu@socio.kindai.ac.jp

### ■論文審査担当事務局(中四国都市学会)

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東 1-1-1  
広島修道大学商学部 川瀬正樹研究室内  
e-mail : office@cs-su.jp

### ■大会担当事務局(九州都市学会)

〒840-8502 佐賀市本庄町 1

佐賀大学芸術地域デザイン学部  
山下・有馬・山口研究室気付  
TEL : 0952-28-8577  
e-mail : ktoshigaku@gmail.com

## 地域都市学会事務局

### ◎北海道都市地域学会

〒062-8520 札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3-1  
札幌大学 平井貴幸研究室内  
TEL : 011-852-1181  
e-mail : hirai@sapporo-u.ac.jp

### ◎東北都市学会

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1 G-6C  
近畿大学総合社会学部 松本行真研究室内  
06-6721-2332 (内線 3262)  
e-mail matsu@socio.kindai.ac.jp

### ◎関東都市学会

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東 1-50-1  
関東学院大学社会学部 小山弘美研究室内  
TEL : 045-374-6047  
e-mail : info@kanto-toshigakkai.com

### ◎中部都市学会

〒487-8501 春日井市松本町 1200 番地  
中部大学人文学部 大塚俊幸研究室内  
TEL : 0568-51-9107 / FAX : 0568-52-0622  
e-mail : chubutoshi@isc.chubu.ac.jp

### ◎近畿都市学会

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1  
近畿大学総合社会学部 久隆浩研究室内  
e-mail : info@kintoshi.org

### ◎中四国都市学会

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東 1-1-1  
広島修道大学商学部 川瀬正樹研究室内  
e-mail : office@cs-su.jp

### ◎九州都市学会

〒840-8502 佐賀市本庄町 1  
佐賀大学芸術地域デザイン学部  
山下・有馬・山口研究室気付  
TEL : 0952-28-8577  
e-mail : ktoshigaku@gmail.com